

あるバンドのインディーズデビューに向けた広報活動
(プロモーション・ビデオとホームページの作成と公開)

福 岡 国 際 大 学
国際コミュニケーション学部
デジタルメディア学科

有山敬芳

目次

第1章 はじめに.....	1
第2章 アマチュアバンドの広報のあり方.....	2
2.1 現状把握.....	2
2.2 広報手段の検討.....	2
2.2.1 曲の広報（プロモーション・ビデオの制作）.....	3
2.2.2 バンドの広報（ホームページの制作）.....	3
第3章 プロモーション・ビデオとホームページの制作.....	5
3.1 プロモーション・ビデオの制作（曲：Shade）.....	5
3.1.1 制作準備.....	5
3.1.2 全体の流れ.....	6
3.1.3 絵コンテ.....	8
3.1.4 撮影方法.....	9
3.1.5 編集について.....	10
3.2 プロモーション・ビデオの制作（曲：白黒夕景）.....	12
3.2.1 制作準備.....	12
3.2.2 全体の流れ.....	13
3.2.3 絵コンテ.....	13
3.2.4 撮影方法.....	16
3.2.5 編集について.....	16
3.3 ホームページの制作.....	17
3.3.1 設計.....	17
3.3.2 制作について.....	17
第4章 プロモーション・ビデオの公開と反響.....	19
4.1 公開先と意義.....	19
4.2 視聴数と反響.....	19
第5章 まとめ.....	24
謝辞.....	25
付録.....	26

第1章

はじめに

現在、プロフェッショナルとして活躍しているミュージシャンは、音楽活動をしている者の中でも一握りの存在である。ほとんどのミュージシャンは、メジャーやインディーズのレーベルからデビューすることを夢見て、ライブハウスで自費ライブを行い、自作CDを売る、いわゆるアマチュアと呼ばれる者である。このようなアマチュアが自分達をアピールするのは大変な苦勞であるが、現在メジャーで活躍している RADWIMPS は、ライブにおける曲の良さが口コミで広まり、10代の若者たちに知名度が上がることで音楽業界関係者に興味を持ってもらえ、メジャーデビューへ道が開けた。

しかしながら、ライブで曲をアピールするには費用がかかり、客を呼び込む手段も必要となる。また、路上での活動においても、良い場所の確保や騒音に対する苦情処理など、考えなければならないことも多い。

オンラインサービスが普及した現在、アーティストはYouTubeなどの一般動画投稿サイト上に自分たちのライブ映像やミュージックビデオを公開することで、世界中に向けて簡単かつ無料でアピールを行うことができるようになった。もしYouTubeの閲覧ランキングで上位に入ることができれば、音楽業界関係者に注目してもらい、インディーズデビューさらにはメジャーデビューへの道が開ける可能性がある。

日本レコード協会調査によると、音楽を楽しむためにYouTubeを利用する割合は49.6%とされている。これはテレビ視聴を上回った数値である。更に、日本国内向けの動画投稿サイトニコニコ動画においても、29.3%と高い水準を示している¹。このことから、動画投稿サイトを利用した広報活動は有用であると言える。

そこで本卒業制作では、メジャーデビューを目指し日々努力している私の友人バンドのプロモーション・ビデオを制作し、YouTubeやニコニコ動画で公開する。また、バンドに興味を持った人がより多くの情報（ライブの日時など）を得られるように、バンドの公式ホームページを作成する。

¹ 日本レコード協会 2009年度実態調査（音楽関連サービス・商品の利用状況）
<http://www.riaj.or.jp/report/mediauser/2009.html>

第2章

アマチュアバンドの広報のあり方

2.1 現状把握

広報活動を行う場合、まず始めにする事は現状の把握である。現状を把握することで、現在の広報において何が不足しているのかを認識し、これからの戦略を立てることができる。また、行われる広報活動がどのように成果を上げるのかを知ることができるという面もある。

本卒業制作で広報のターゲットとしている「Summer Salt Citys」は、ライブ活動をメインに行っているバンドである。ライブにおける集客数を調べることで、知名度の高さがわかるはずである。以下に調査結果を示す。

- 1度のライブで売れたチケット数・・・10～15枚

チケットを買った者のほとんどがメンバーの友人である為、残念ながらバンド「Summer Salt Citys」は、まったく知名度がないと言える。

2.2 広報手段の検討

バンドのインディーズデビューへ向けての広報手段は、下記のようなことが考えられる。

1. チラシを配ってライブへ来てもらえるよう呼びかける。
2. レコード会社へ音源を持ち込む。
3. プロモーション・ビデオを制作し、一般動画投稿サイトで公開する。

このうち私は、3番目の広報手段を行うことにした。これは、インターネットを使用した広報であり、最も身近で費用も抑えられる非常に良い広報手段だと思われる。

2.2.1 曲の広報（プロモーション・ビデオの制作）

曲をアピールする上で、プロモーション・ビデオはたいへん有効である。これは、曲のイメージを視覚的に表現することで、より視聴者に楽しんでもらうことができるためである。

また、音楽制作会社への音源の持ち込みの際にも、映像がプラスされたプロモーション・ビデオの方が、聴覚だけでなく視覚的にも訴えかけられるという利点がある。耳と目の両方から情報を与える方が印象に残りやすいはずである。

本卒業制作では、バンドが持っているオリジナル曲の中からの「shade」と「白黒夕景」の2曲を選び、プロモーション・ビデオの制作を行った。これは次の理由からである。

<Shade>

- バンドのイメージにぴったりの曲である。
- ライブで一番盛り上がる曲である。

<白黒夕景>

- ロック以外の曲をアピールしたい。
- ファンの評価が高くメンバーもお気に入りのバラードである。

2.2.2 バンドの広報（ホームページの制作）

インターネットの利用が広く国民生活に浸透していることを示す情報として、日本レコード協会の調査での「発売を知るきっかけとなった手段」に1位がテレビCM、2位がアーティスト公式サイトというものがある²。

そこで、プロモーション・ビデオを見てバンドに興味を持った人がバンドの情報を得るためにバンドの公式ホームページを訪れた時、さらにバンドを気に入ってもらおう工夫をする必要がある。

Summer Salt Citys も公式サイトはあるが、広報としてのサイトの視点から見ると、これにはいくつか問題点がある。

図1に Summer Salt Citys の公式サイトを示す。

² 日本レコード協会 2009 年度実態調査（楽曲の認知・購入経路）
<http://www.riaj.or.jp/report/mediauser/2009.html>



トップページ



プロフィール

図 1：既存の公式サイト

下記にこのサイトにおいて改善が必要な点を示す。

- ◆ 背景が蛍光水色で cool ではない。
- ◆ トップページの画像とロックバンドのイメージが違いすぎる。
- ◆ プロフィール画像でバンドメンバーの雰囲気をつかめない。
- ◆ パソコンのように広い画面でサイトを見たときにもっと寂しい。

このように既存の公式サイトでは、プロモーション・ビデオを見て興味を持ってくれた人にバンドの魅力が伝わるか不明である。そこで、新しく「このバンドのライブに行ってみよう」と思ってもらえるサイトにするため、下記のような工夫を行う。

- ◆ トップページにライブ演奏の画像を入れ、一目でロックバンドだとわかるようにする。
- ◆ ロゴを制作し、格好良さを表す。
- ◆ 背景色を変更し、cool さを出す。

第3章 プロモーション・ビデオとホームページの制作

3.1 プロモーション・ビデオの制作（曲：Shade）

3.1.1 制作準備

プロモーション・ビデオで曲のイメージを表現するために、「Shade」についてバンドメンバーに曲に対する質問をした。

1. この曲のアピールポイントは？
 - ◆ 聴きやすいメロディー。
 - ◆ ハイテンポなロックテイストで気分が盛り上がる。
2. 「Shade」という曲を言葉で表現するならば？
 - ◆ 一人ひとりの決して交わらない思いを光と闇に例えた曲。
3. どんなプロモーション・ビデオにしたいのか？
 - ◆ 「Shade」の世界観を視聴者に伝えられるようにしたい。
 - ◆ バンド演奏をメインにしたプロモーション・ビデオにしたい。

制作を行う為に、使用機材と曲の音源の収集を行った。機材を収集する際に苦労した点は、メンバーの中にドラムセットを持った人がいないという点である。そのため、知り合いや本学の音楽部に相談し、最終的に知り合いから借りることができた。曲はバンドが音楽スタジオで制作した AIFF オーディオファイル形式で提供を受けた。表 1 に機材の詳細を示す。

表 1：使用した機材

	機材		備考
借りた物	ビデオカメラ (Victor:GR-DV700K)	2 台	大学から借用
	三脚	2 台	大学から借用
	ドラムセット	1 セット	知り合いから借用

また、撮影を行うためにロケーション・ハンティングを行った。ガラクタがあちこちに落ちている古びた建物を使いたかったので、福岡県内を3日間探しまわり、以下の条件に合う場所を探した。

1. 建物の内が暗いこと。
2. 大きな音を出しても周囲から苦情が来ないこと。
3. 古びた建物でガラクタが落ちていること。

その結果、図2のような場所を見つけた。

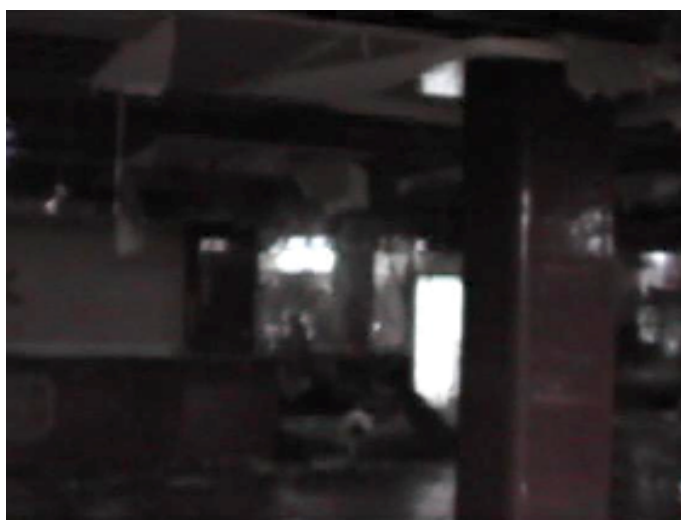


図2：Shadeのロケ現場

3.1.2 全体の流れ

Shadeは全体的にアップテンポな曲である。曲の構成としては、イントロから始まって、Aメロ、Bメロと続き、最初のサビが来る。その後、若干の間奏があり、ややゆったり目のCメロが来て、再びサビが歌われ、一気にエンディングへ向かう。

そこで、イントロを聞いた視聴者が自然とリズムを刻みだすように、映像はドラムシンバルのアップから始めることにし、ギターとドラムキックのアップでさらにリズム感をアピールする。

ギターソロがあるサビ1とCメロの間だけモノクロのエフェクトを解除し、残像のエフェクトにした。それにより、バンドらしいcoolさを狙った。

図3にShadeの全体の流れを示す。

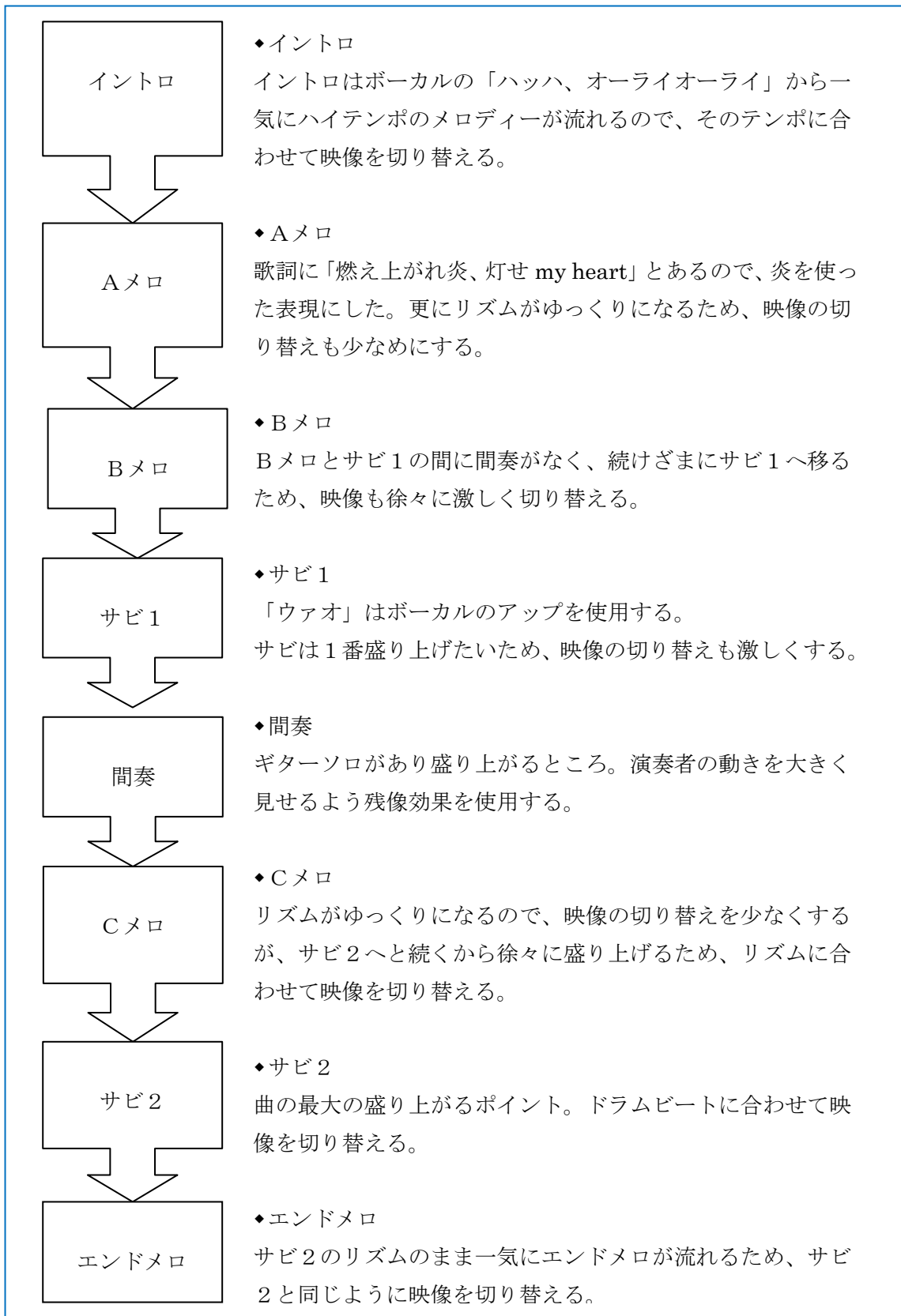


図 3 : Shade の全体の流れ

3.1.3 絵コンテ

バンドメンバーに調査した内容を元に、プロモーション・ビデオをどのように制作するかを考えた。「Shade」では曲の世界観を視聴者に伝えるため、モノクロを使用して古びた感じを出すことになった。

絵コンテを描く際、初めに行ったのは、映像のイメージを文章で表現することである。その後、イメージにそって絵コンテを作ったが、格好良い構図が分からなかったため、メジャーデビューしているプロのバンドのPVを見て、格好良いと思ったカットを探し、参考にした。

このように作った絵コンテの一部を図4に示す。なお、絵コンテは付録に記載しているが、後述する理由により最終的に出来上がった映像は絵コンテから変わっている。



図4：絵コンテと完成した映像との比較

3.1.4 撮影方法

撮影は、友人の坂本乃祐氏、佐田和哉氏と私の3人で行った。カメラでの撮影を3人で担当するため、実際に撮影を行う前にカメラの配置図を作り、事前に撮影の手順を確認した。配置図の一部を、図5、図6に示す。このように事前にカメラの位置と狙うターゲットを明確にすることで、撮影をスムーズに行える。全体撮影は、坂本乃祐氏、佐田和哉氏で行い、個別撮影は私が行った。

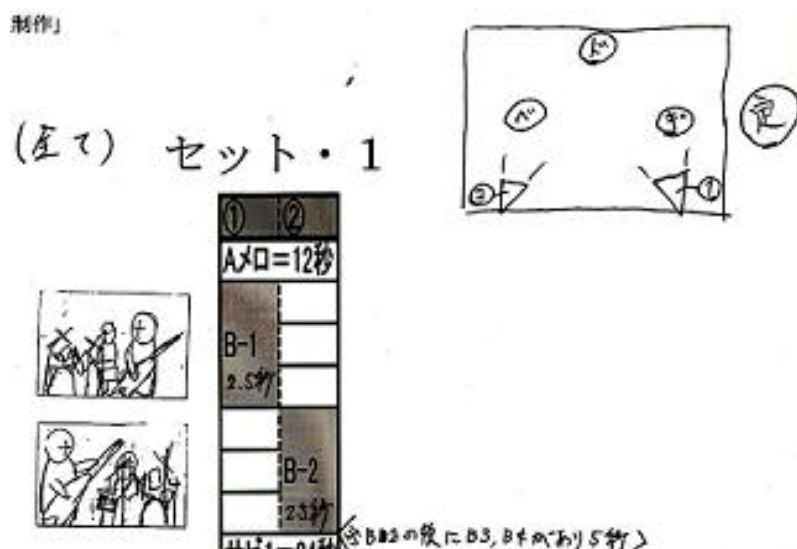


図5：カメラ配置セット1の配置図（一部）

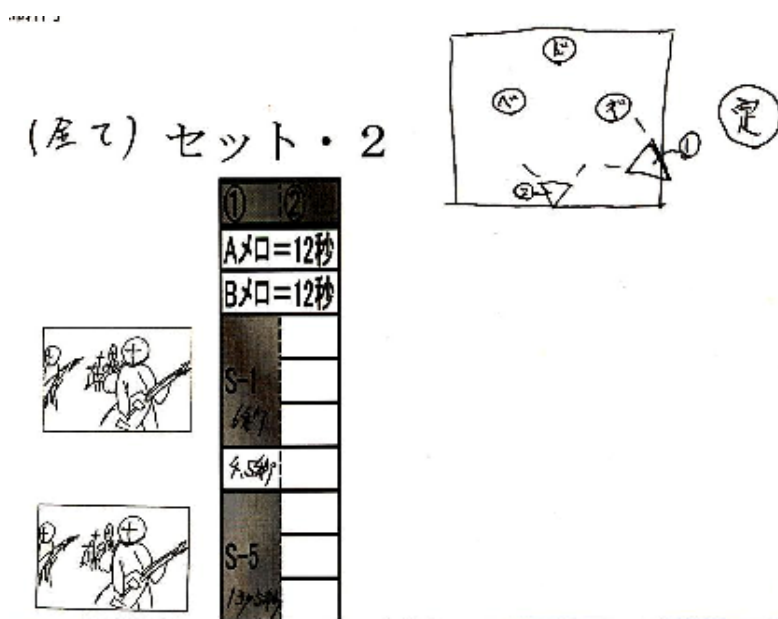


図6：カメラ配置セット2の配置図（一部）

その他、撮影の際には次のことを意識し、撮影を行った。

- ◆ 手持ちで撮影を行う際は、手ブレしないように脇を締め、カメラを極力固定し撮影する。
- ◆ 編集で映像を繋げる時に微調整がしやすいように、撮影の始めと終わりに10秒程時間を空けて撮影する。

また、撮影時に失敗したことは次の通りである。

- ◆ 「本学の学生だから大学に許可を取らずに撮影しても良い」という安易な思い込みから、学内で無断撮影をしてしまい、平川先生や古市先生をはじめ多くの大学関係者、大学の近隣住民の方に多大な迷惑をかけてしまった。
- ◆ スケジュールを立てる段階のミスで、休む余裕なく続けざまに撮影するというバンドメンバーへの配慮が足りないスケジュールを立ててしまい、バンドメンバーの疲労が限界まで溜まった。
- ◆ 絵コンテ通りの撮影が終わる前に、バンドメンバーが限界にきてしまい、撮影が打ち切りになって、結果、映像素材が足らなくなった。
- ◆ 撮影の予備日を設定しなかったため、バンドメンバーとのスケジュールが合わず、映像素材が少ないまま編集作業へ進んだ。

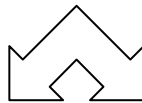
3.1.5 編集について

まずコンピュータに取り込んだ映像を Adobe Premiere Pro CS4 を使って絵コンテ通りに繋ぎ合わせたが、映像素材が足らず、絵コンテ通りにならなかった。そこで、画質は落ちるが Premiere Pro のビデオエフェクトからクロップを使用し、映像を切り取って素材を増やし、メリハリを付けることができた。

図7に、素材とエフェクトをかけた画像を示す。



元動画



素材1



素材2

図7：素材の使いまわし

この他にも、以下のことを注意しながら編集を行った。

- ◆ 映像の切り替えをドラムビートに合わせる。
- ◆ 曲の余韻を残してエンドロールを流す。
- ◆ エンドロールは unnecessary な言葉を入れずスッキリさせる（図8）。



図8：エンドロール

3.2 プロモーション・ビデオの制作（曲：白黒夕景）

3.2.1 制作準備

プロモーション・ビデオで曲のイメージを表現するために、「白黒夕景」についてバンドメンバーに曲に対する質問をした。

1. なぜこの曲を選んだのか？
 - ◆ロック以外の一面をアピールしたい。
2. この曲のアピールポイントは？
 - ◆曲の世界観に入りやすい。
3. 白黒夕景という曲を言葉で表現するならば？
 - ◆日常生活の中にある暗い部分から立ち直っていくさまを歌にした曲。
4. どんなプロモーション・ビデオにしたいのか？
 - ◆神秘的な曲のイメージを表現した映像にしたい。

制作を行う為に、機材の収集を行った。表2に機材の詳細を示す。

表2：使用した機材

	機材		備考
借りた物	ビデオカメラ (Panasonic:HDC-TM30)	1台	知り合いから借用
	ドラムセット	1セット	知り合いから借用
用意した物	ラジカセ	1台	実家から借用
	発電機	1台	実家から借用

撮影を行う為に、以下の条件でロケーション・ハンティングを行った。

1. 森の中で明るすぎない事。
2. 大きな音を出しても周囲から苦情が来ない事。
3. 演奏スペースがある事。

その結果、図9のような場所を見つけた。



図9：白黒夕景のロケ現場

森ではなく竹林であるが、求める雰囲気は出ると思われた。

3.2.2 全体の流れ

白黒夕景は全体的に緩やかな曲である。曲の構成は、イントロが48秒ありAメロが始まり、Bメロのラップへと続き最初のサビが来る。その後、間奏を挟んでCメロ、Dメロのラップが来て再びサビが歌われ、エンディングが流れる。

イントロだけで48秒もあるため、竹林の中を歩く様子をスロー加工し、そこでアコースティックギターやバンドの演奏シーンを絡ませ、視聴者が飽きないようにした。また、神秘的な曲の世界観を伝えるために、映像の合間に竹林の風景を取り入れた。

図10に白黒夕景の全体の流れを示す。

3.2.3 絵コンテ

バンドメンバーに調査した内容を元に、プロモーション・ビデオをどのように制作するかを考えた。「白黒夕景」では曲の神秘的さを視聴者に伝えるため、野外で撮影を行うことになった。

また、「白黒夕景」の制作に入るまでに1曲目のプロモーション・ビデオとホームページの制作が長くかかってしまい、白黒夕景に費やす時間が少なく、絵コンテを作る時間がなかったため、歌詞に映像のイメージを描き込んだもので代用した(図11)。

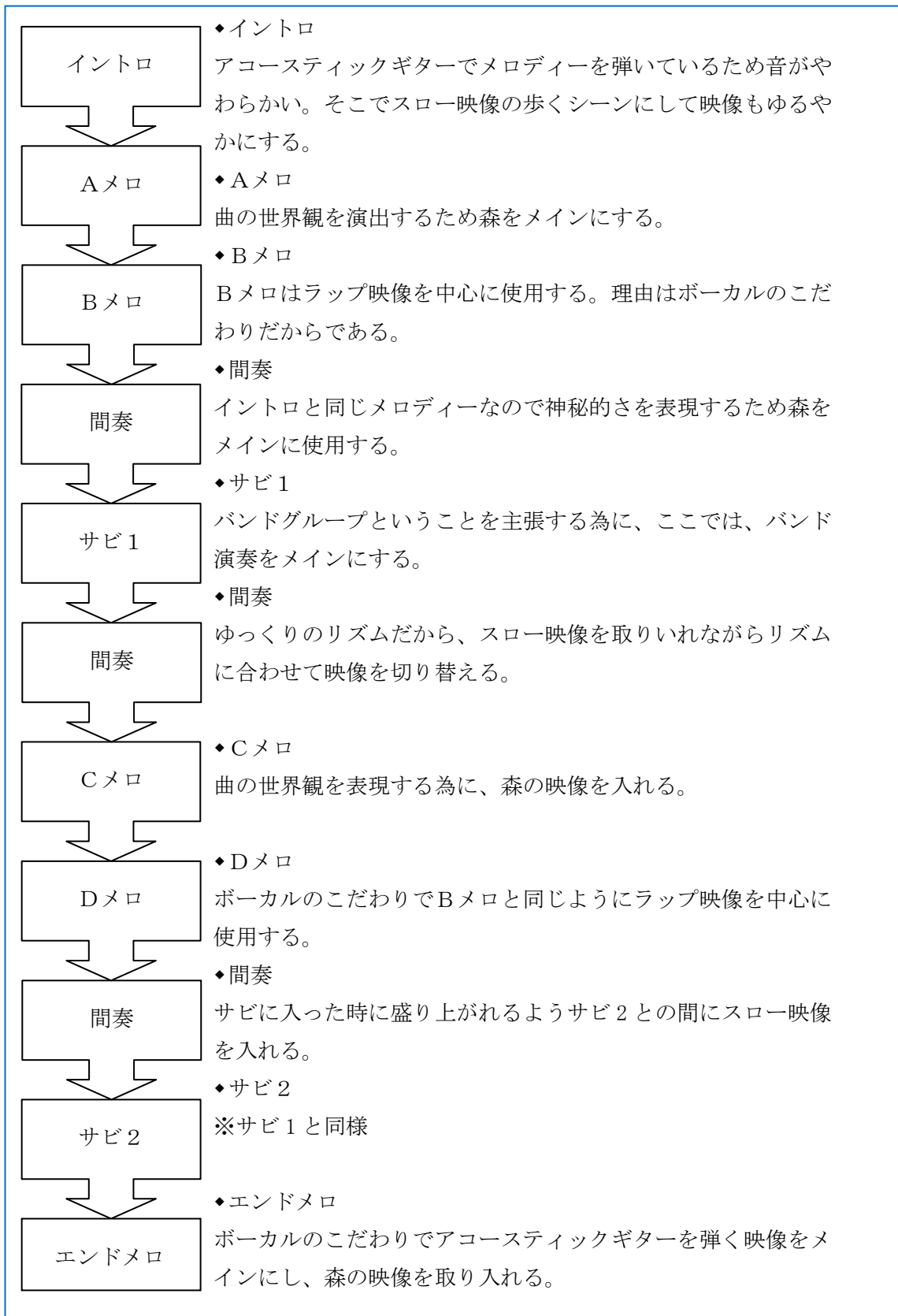


図 10：白黒夕景の全体の流れ

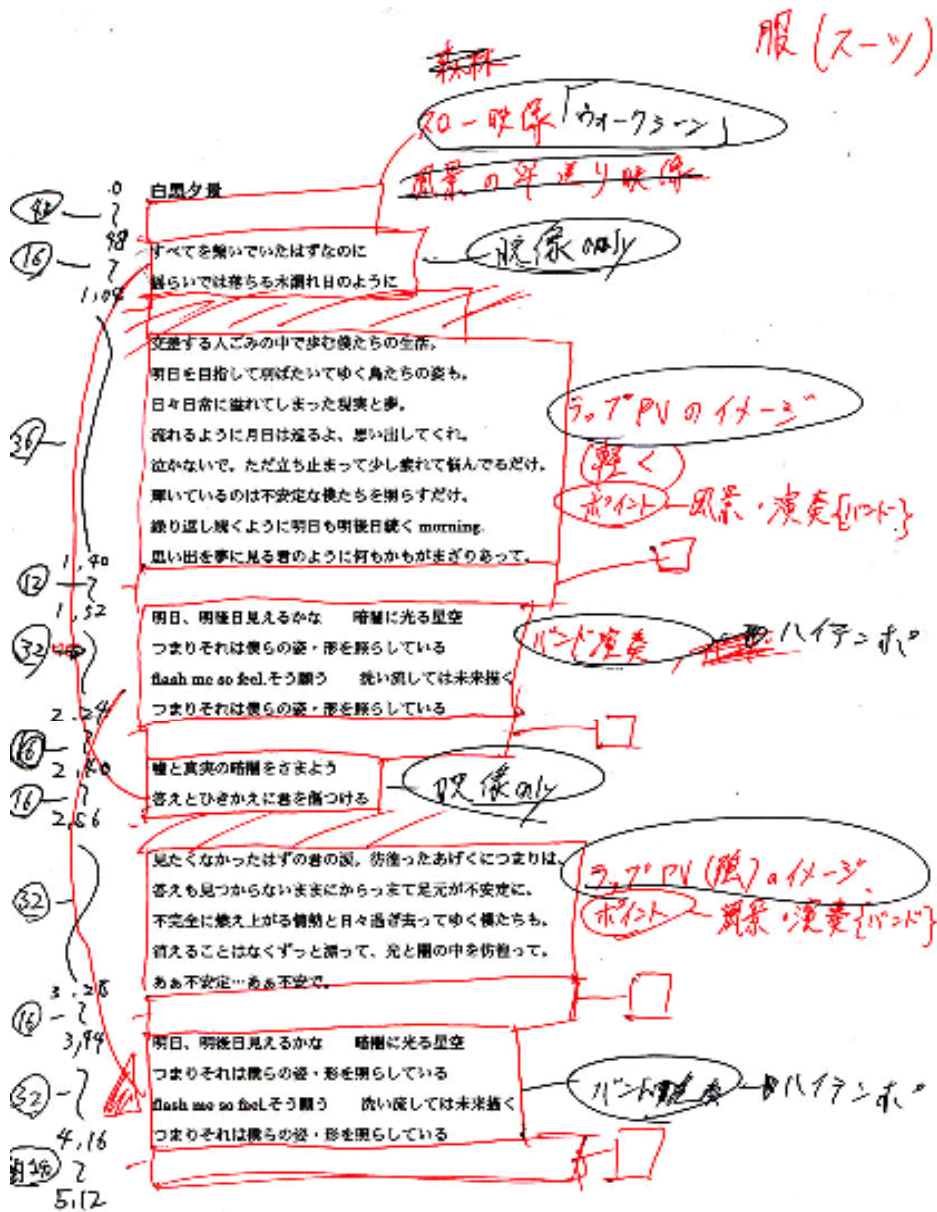


図 11：白黒夕景の映像イメージ

3.2.4 撮影方法

Shade では3人で撮影を行ったが、白黒夕景の撮影は私1人で行った。
Shade の撮影の時に失敗したことを踏まえ、以下を工夫して行った。

- ◆ 撮影場所を限定することによって移動の時間をなくすことと、全体撮影の合間に個人撮影を行うことでメンバーの疲労回復の時間を作り、実際の撮影の時間が長くても効率良く撮影できるようにした。
- ◆ Shade ではすべて三脚を使用した定点カメラでの撮影を行った為、動きのない映像素材ばかりだった。そこで、今回は動きのある映像を撮る為、手持ちで撮影を行った。
- ◆ Shade では平面上で角度を変えて撮影したが、白黒夕景では上下に角度を付ける為、木に登って撮影するカットを取り入れた。

3.2.5 編集について

Shade と同じく Adobe Premiere Pro CS4 を使用し、編集を行った。特に工夫を加えた点は以下である。

- ◆ アコースティックギターのイントロとエンディングはスロー映像にした。
- ◆ 白黒夕景の世界観を伝える為に森の風景を映像の合間に取り入れた。
- ◆ サビ前にスロー映像を入れることでサビにパワーを出した。

制作にあたり、次の条件を提示し春川弘毅氏に制作を依頼した。

1. タイトルアニメーションとエンドロール

条件：神秘的なエフェクトを使用し「もののけ姫」の世界観に似たものにする



図 12：タイトルアニメーション



図 13：エンドロール

2. 間奏

条件：木漏れ日から光があふれ画面いっぱいに広がる



図 14：間奏

3.3 ホームページの制作

3.3.1 設計

「2.2.2 バンドの広報（ホームページの制作）」で述べている通り、既存の公式サイトをバンドマンらしくすることで、プロモーション・ビデオを見てくれた人がよりバンドに興味を持ってもらえるように、下記を意識し、作り変えを行った。

- ◆ ライブ演奏の画像を加工し、バンドマンらしさを表す。
- ◆ ロゴを制作し、格好良さを表す。
- ◆ 背景を白色に変え、目が痛いのを解消する。

ロゴと画像は中尾奈々子さんに作成を依頼し、ホームページ全体をシンプルで見やすい色使いとした。

3.3.2 制作について

バンドメンバーは全員が自宅にパソコンを持っていないため、既存の公式サイトで使用している「魔法のiランド」という携帯でも編集が行えるサイトを使用し、ホームページの制作を行った。これは、ホームページの制作後も随時、バンドメンバーが情報の更新を行えるようにするためである。

また、既存の公式ホームページで書かれている日記と掲示板は、現在入っている情報を無駄にしないために、新しく制作したホームページでも閲覧できるようにリンクを張った。



Next Live☆

Summer Salt Citys
Official Home Page

☆NEWS☆
『CD完成！ライブの祭に販売中♪』

バンドPV第2弾完成！！
You tubeにて視聴可能♪
タイトル (summer salt citys(白黒夕景))
『みなさまの視聴お待ちしております』

☆吹き☆
速くの方に
音楽が届くほどに
ひぐらしのなく頃に
Time waits for no one!

Contents

[プロフィール](#)
[ライブ](#)
[掲示板](#)
[日記](#)
[アルバム](#)
[リンク](#)
[PV\(shade\)](#)

[お手紙はコチラ](#)

You will be back !! So I believe you !! And believe me...

図 15：トップページ

第4章

プロモーション・ビデオの公開と反響

4.1 公開先と意義

制作したプロモーション・ビデオを多くの人に観てもらおう為、インターネット上で公開した。「第1章はじめに」で述べている通り、完成したプロモーション・ビデオはYouTubeとニコニコ動画に投稿した。

また、YouTubeにおけるバンドのプロモーション・ビデオの投稿数を調べるため、下記キーワードで検索をかけた結果は次の通りである。

<YouTube 検索結果>

- ◆ インディーズバンドで検索をかけた結果・・・1,160件
- ◆ インディーズバンドPVで検索をかけた結果・・・546件
- ◆ アマチュアバンドで検索をかけた結果・・・734件
- ◆ アマチュアバンドPVで検索をかけた結果・・・36件

インディーズデビューしているバンドのプロモーション・ビデオが多いのは、YouTubeでプロモーション・ビデオを見る人がかなりいることを示している。また、アマチュアバンドのプロモーション・ビデオが36件と少ないため、投稿すれば見てもらえる可能性があるともいえる。

このように一般動画投稿サイトへ動画を投稿することで、多くの人に見てもらい楽しんでもらえたなら、目標であるバンドの知名度が上がることに繋がる。上記2つの一般動画投稿サイトの閲覧数の統計から、制作した動画にどれだけの人が興味を持ってくれたのかが分かる。

4.2 視聴数と反響

完成した動画の詳細は表3の通りである。そのデータを一般動画投稿サイト推奨のデータに圧縮したものを表4に示す。なお、YouTubeとニコニコ動画の圧縮形式は同じである。

表 3：完成動画の詳細

	Shade	白黒夕景
解像度	720 x 480	720 x 480
ファイルサイズ	685.2MB	1.25GB
再生時間	3分10秒	5分55秒

表 4：投稿用動画（圧縮）の詳細

	Shade	白黒夕景
解像度	1280 x 720	1280 x 720
ファイルサイズ	18.8MB	35.3MB
再生時間	3分10秒	5分55秒
タイトル	福岡 アマチュアバンド PV (summer salt citys(Shade))	福岡 アマチュアバンド PV (summer salt citys (白黒夕景))
投稿日	YouTube:11月24日 ニコニコ動画:12月1日	YouTube:1月20日 ニコニコ動画:1月26日
キーワード	SummerSaltCitys、Shade、fukuoka、amatyuabanndopv、福岡、アマチュアバンド、プロモーションビデオ、福岡国際大学	SummerSaltCitys、白黒夕景、amatyuabanndopv、fukuoka、福岡、アマチュアバンド、プロモーションビデオ、福岡国際大学

動画には、最初にデジタルメディア学科のロゴアニメーションをつけ、タイトルアニメーションを続けた。図 16 と図 17 にそれぞれのスナップショットを示す。



① デジタルメディア学科ロゴアニメーション

② タイトルアニメーション



③ プロモーション・ビデオ

④ エンドロール

図 16 : Shade の各キーフレームのスナップショット



① デジタルメディア学科ロゴアニメーション

② タイトルアニメーション



③ プロモーション・ビデオ

④ エンドロール

図 17 : 白黒夕景の各キーフレームのスナップショット

図 18 は YouTube の画面である。



図 18 : YouTube の視聴画面

動画を投稿してからどれだけの人がこの動画を閲覧し、どのような気持ちになったのかを知る為に、評価と視聴数、コメントの調査を行った。白黒夕景ではコメントを頂けなかったが、Shade では1件のコメントを頂けた。コメントの内容は「いいですね (*^_^*) 好きな雰囲気です♪」というものであった。

図 19 は動画別に投稿してからの視聴数を示す。

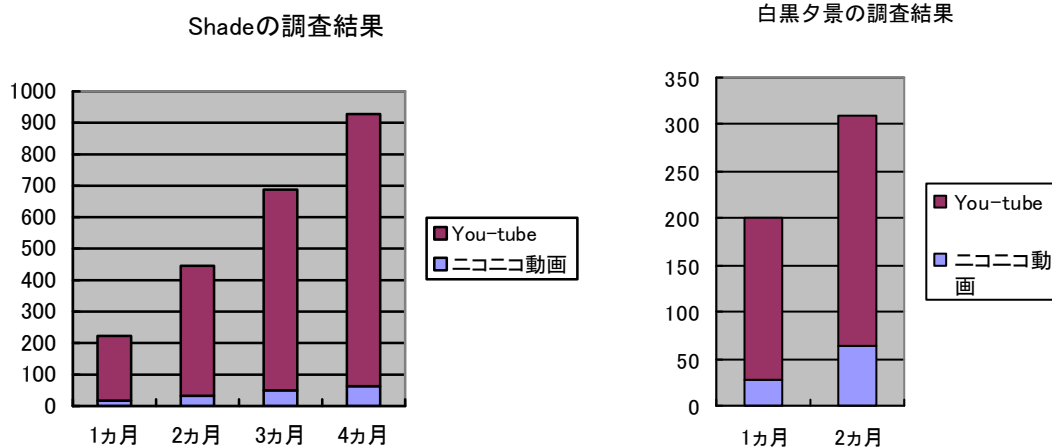


図 19：動画サイトの調査結果

Shade は 4 ヶ月間に、YouTube で 865 件、ニコニコ動画で 63 件と、合計 938 件の視聴があり、白黒夕景は 2 ヶ月間に YouTube で 247 件、ニコニコ動画で 63 件と、合計 310 件の視聴があった。2 つの動画合わせて YouTube ではお気に入りの登録が 8 件あり、ニコニコ動画では 6 件のマイリストへの登録があった。

動画を投稿する前と比べ、1 度のライブで売れるチケットの枚数が 10 枚から 25 枚に増え、ホームページのアクセス数もひと月 200 回ずつ増が 300 回ずつ増になった。このことから、Summer Salt Citys というバンドに興味を持つ人が少しずつ増えてきたのではないかと思われる。

第5章

まとめ

本卒業制作を通して失敗から学んだことがいくつかある。まずは、本学の許可を取らず学内で撮影を行い、大学関係者や大学周辺にお住まいの住民方に多大なご迷惑をかけたことだ。本学の学生だから撮影くらいやってもいいという安易な考えから大失敗を起こしてしまった。撮影の際には、その撮影場所が許可無しに撮影しても良い所なのか確認しなければならないことを学んだ。

次に、編集に入る前に使用ソフトを扱って少しでも慣れておくべきだった。撮影が終わり、いざ編集に入っても、操作に慣れる為に1ヵ月ほど時間を費やしてしまった。そのために、本来プロモーション・ビデオを3曲制作する予定だったが2曲目を制作するので精一杯だった。しかし、一人では2曲目も完成出来なかったと思う。2曲目が完成できたのは3年生の春川弘毅氏にタイトルアニメーションとエンドロール、エフェクトの制作を手伝ってもらえた事でスムーズに作業が進み完成できたと思う。

他には、スケジュール管理不足である。絵コンテと撮影配置図の作成が終わりロケーション・ハンティングを行い撮影したが、時間配分を考慮したスケジュールを作成しておらず撮影の途中で日が暮れてしまい、絵コンテ通りの撮影が行えなかった。その結果、編集の際に映像素材が足らず、それを補うスキルも無くかなりの時間を費やしてしまった。

本卒業制作を通して、数々の新しい経験ができた。まず、プロモーション・ビデオの制作である。1つのプロモーション・ビデオを制作するのに絵コンテを書き、撮影配置図を考え、撮影の前に撮影場所の確認をしなければならないという事を知った。また、制作で使用したソフトの知識も増え、映像を作る楽しさと苦勞を知った。

最後に、今回完成した2つのプロモーション・ビデオとホームページを視聴し、改めて周囲の協力で成り立っている事を実感し、友人バンドの知名度を高める試みも成功したのではないかと思う。

謝辞

本卒業制作を行うにあたり、福岡国際大学国際コミュニケーション学部デジタルメディア学科の平川幹和子准教授には、最後の最後までご指導ご鞭撻を頂き厚く御礼を申し上げます。

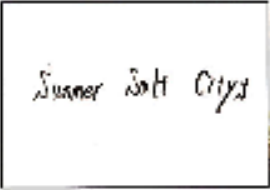



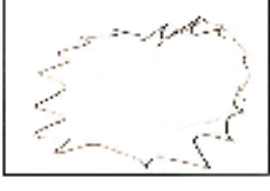
計算機管理室の職員である大塚三恵さんには、撮影時の機材の貸し出しや各部屋の使用許可などで大変お世話になり、ありがとうございました。

また、工藤翔平氏、中原弘樹氏、馬場晃人氏、熊谷篤人氏、佐田和哉氏、坂本乃祐氏、中尾奈々子さん、春川弘毅氏には、本卒業制作に快くご協力頂き、感謝いたしております。

付録

Shade 絵コンテ

平川ゼミ 卒業制作 絵コンテ

VIDEO	バンク名・場面紹介	SOUND
① 背景 - 灰色 (濃い) 文字 - 白色 色付基本		波の音 「ア-ンダア-ンダ」
② 色付 - 青色 左から色をいれる。		
③ 色付 - 青色 右側をいれる。		
④ 文字 - 赤 = 文字の周りに色 色付 - 青色 文字の周りに色をいれる。		
⑤ 素人中心の光の動き ...の動きをいれる。		

//

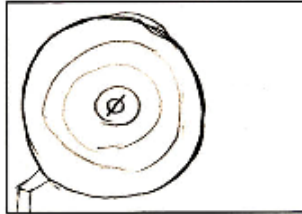
イントロ・1

VIDEO

SOUND

(i-1)

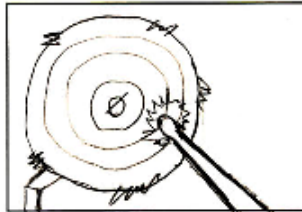
5に映像を重ねる。
2秒固定



「ハッハ、オーライオーライ」

(i-2)

<i-2>= 1秒
シンバルを叩いて有線半転の
トラック2を入れてi-3へ。



「ジャン!!」

(i-3)

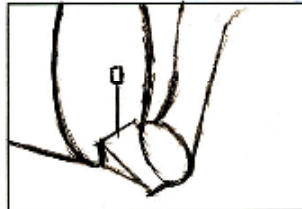
<i-3>を3秒キープ
3秒後でズームアウト



「ジャジャジャジャージャ」

(i-4)

2秒キープ
2秒後でi-5へズームアウト

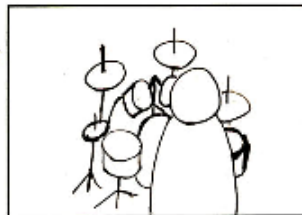


「ジャジャジャジャージャ」

「ドンドンンドン」

(i-5)

2秒キープ



「タカタカタカカ、ジャン」

イントロ・2

VIDEO

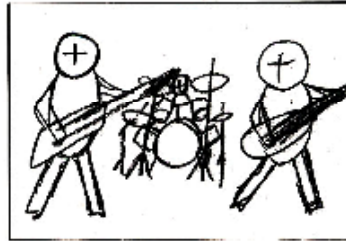
(i-6)

3秒キープ
6秒使って<i-7>のカットで
水早移動



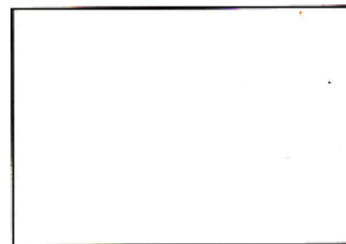
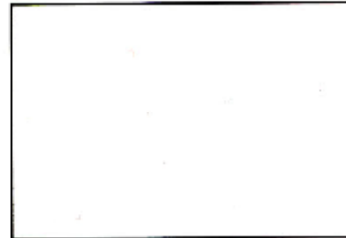
(i-7)

3秒キープ



(i-8)

白黒反転
1小節に4回使用
リズムカールに入れる



SOUND

A10

VIDEO

A-1

壁に寄りかかると。
顔悲しくなる。



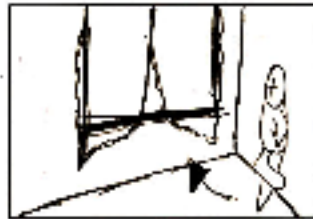
A-2

A-2と同時。
A-1からA-3の方向に
右から水平移動。



A-3

顔悲しくなる時に。
目の向きを大きく変える。



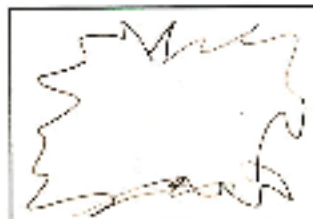
A-4

顔悲しくなる時に
カメラを上げる。



A-5

ホワイトアウト



SOUND

光りあれど消えぬ

S l a n d e

燃え上がりぬ炎

灯せ

心

heart

B+0

VIDEO

SOUND

B-1

2.5秒
定点カメラ



カ無くとも
咲き誇れ

B-2

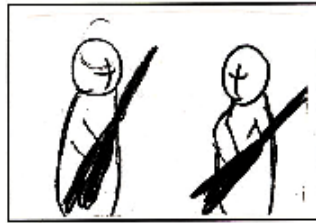
2.5秒
定点カメラ



木々の隙間から
光は降り

B-3

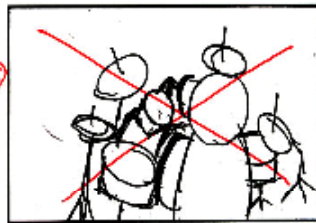
2.5秒
定点カメラ



とめどない
思いを「けが」連鎖

B-4

2.5秒
定点カメラ



S
B-3
→

鹿が「作り光との円が」

サビ1

VIDEO

S-1

1秒
色調3カメラ

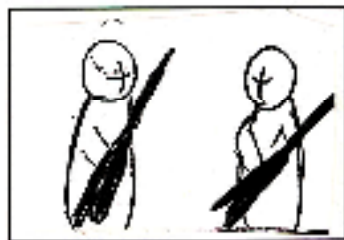


SOUND

おかしなところがある
影の中にいるのは

S-2

1.5秒
固定カメラ



控けたのは

S-3

1.5秒



僕が

S-4

カメラの移動
1.5秒



光と影の

S-5

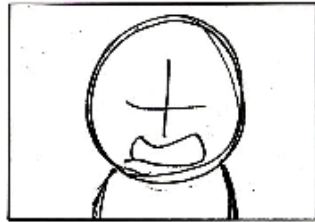
13.5秒
色調3カメラ



はさまに
苦しくて痛いのは
同じ
2人は決して交じり合わない
光と闇のshade

間奏-1

(K-1) VIDEO
J-5 曲に視せる。



SOUND
「アタ!!」

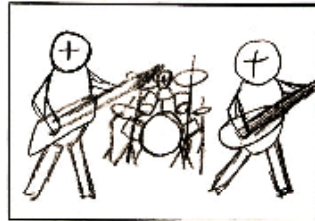
(K-2) 2小節
・3秒
・見点カチラ



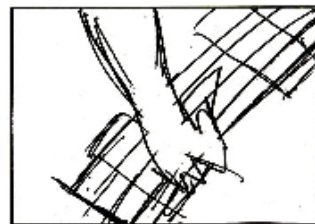
(K-3) 2小節
・3秒
・見点カチラ



(K-4) 3拍子小節
・4.5秒
・台持ち〈7/8無〉



(K-5) 0.5小節
・0.75



ジャンプ

簡 竟 - 2

VIDEO

(K-1) 0.05小節
・0.75

SOUND

クマン
シヤン
クマーン



(K-2) 0.9-1.0 (0.15小節)
2小節目 7-7 (3拍)
0.15小節目 0.15 (K-8)に
ズームアウト



(K-3) 1.1-1.2 (0.15小節)
2小節目 7-7 (3拍)
・0.15小節目



(K-4) 1.3-1.4 (0.15小節)
2小節目 7-7 (3拍)
ここにドラムが加わってくる。



(K-5) 1.5-1.6 (0.15小節)
2小節目 7-7 (3拍)
下の0.15小節目



間奏 - 3

(K-11)
・2小節
・3秒

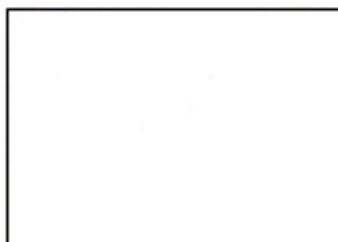
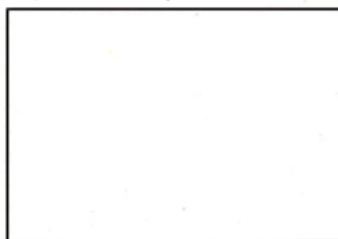





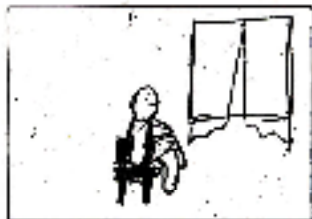

(K-12)
・2小節
・3秒



(K-13)
1小節たった後、(1秒)
(C-1)の映像に
本ワケでカットでチェンジ

(K-14)



VIDEO	C/F	SOUND
<p>① ・2秒キープ 見点カメラ</p>		<p>あ あ</p>
<p>② アップの足 2秒使、で引ミ 2秒キープ</p>		<p>この傷が</p>
<p>③ ・6秒 向かい合った二人が 分れ進む。</p>		<p>君との 本一ター</p>
<p>④ ・4秒キープ 2秒使って ズームイン ・カメラが風に揺れる。</p>		<p>嘘は聞かされた</p>
<p>⑤ ・0.4秒映像を多めに撮る(0.2秒) ・0.5秒カメラの時に 「おえた、子」が流れる。 カメラが風に揺れる。</p>		<p>→ 伝えたいよ。</p>

サビ2

VIDEO

⑤²-1 <6秒>
薄い煙を発生させ
風をバンドメンバーが受けて
左前方より発生させる。

⑤²-2 <6秒>

⑤²-3 <3秒>
スロ-再生
(曲と同じ所を演奏する
必要はない。)

⑤²-4 <3秒>
スロ-再生
(曲と同じ所を演奏しなくて良い)

⑤²-5 <6秒>

SOUND

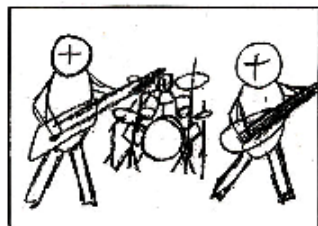
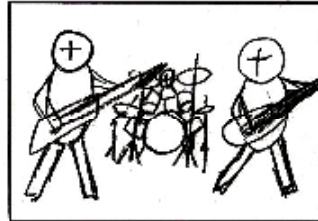
わがわがしていたとき
影の中にいるのは

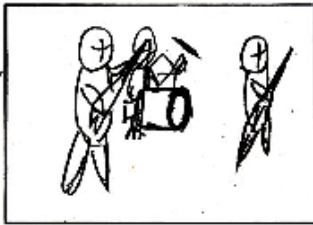

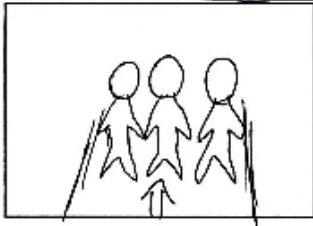

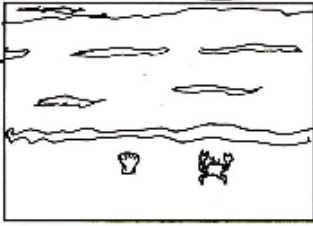
挫けたのは僕が
光と影のはざまに

苦しくて痛いのは同じ

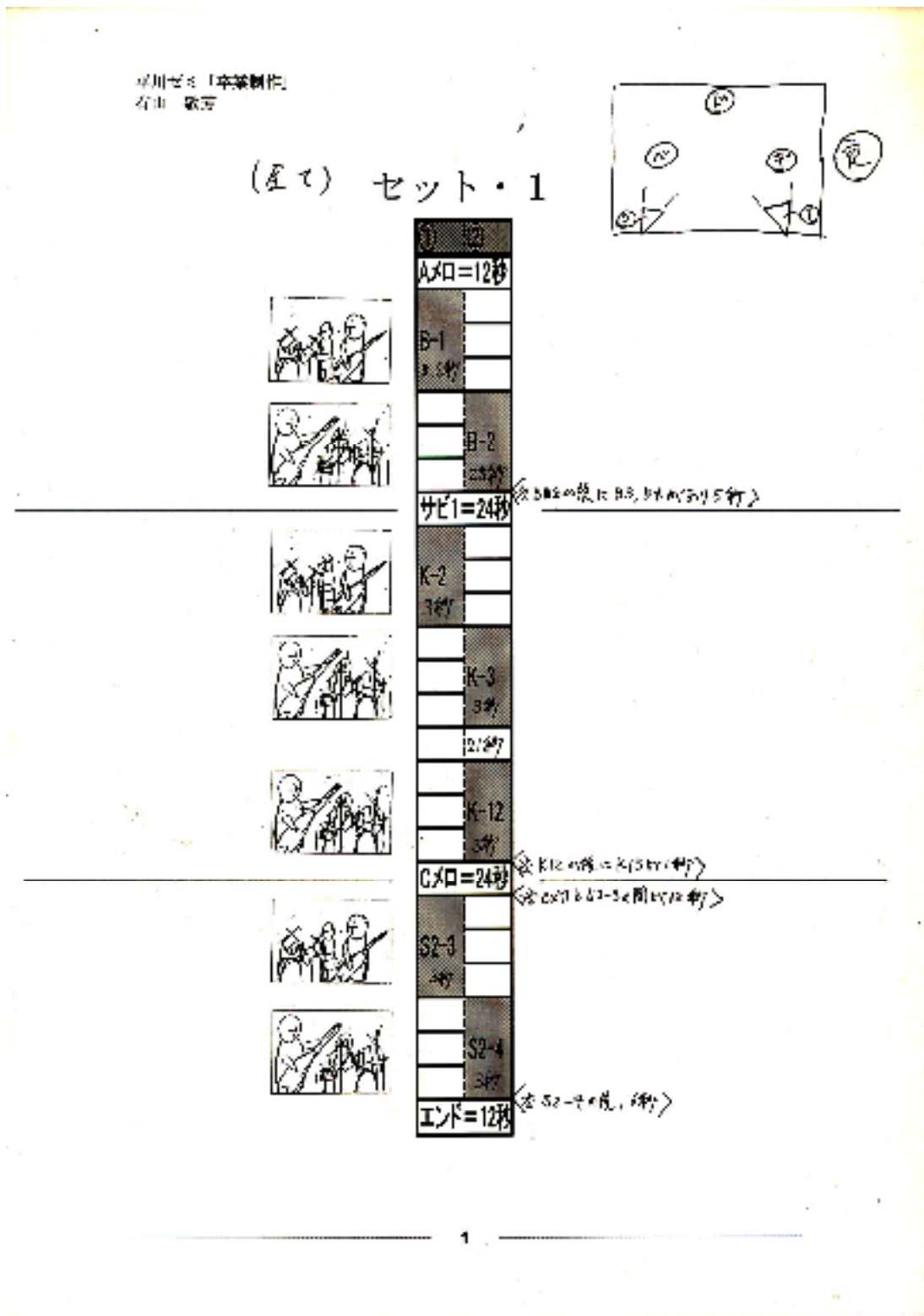
2人は決して
交じり合わない

光と闇の
shade



VIDEO	エンド	SOUND	
<p>(E-1) 1小節目キープ<3秒> 2と3小節目で<6秒> 水着移動</p>		SOUND	
<p>(E-2) <3秒> 4小節目キープで 曲の終わりに何か パツチりな映像にチェンジ</p>		SOUND	
別 パ タ ー ン	<p>(E-3) <12秒> 4小節目使って 3人が歩く</p>		SOUND
	<p>(E-4) 曲の終わりと同じに 3人が走りになって飛んでゆく。</p>		SOUND
<p>(E-5) 浪打ちの際</p>		<p>「ザーン」 「ザーン」</p>	

Shade カメラ配置図



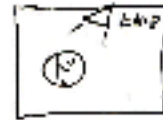
平川セキ「本舞制作」
石田 敬芳

(戻り) セット・2



	0-2	
	A×口=12秒	
	B×口=12秒	
	S-1 12秒	
	12秒	
	S-5 12秒	
	12秒	
	K-4 12秒	(20秒程度, C/A)
	C×口=24秒	
	S2-1 12秒	
	S2-2 12秒	
	12秒	
	S2-5 12秒	

(イトロ) セット・5

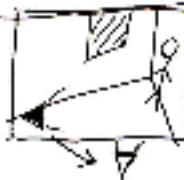


H-1
2秒



H-2
1秒

(A+0) セット・6



A-1

「1秒キープ」



A-2

「5秒着脱して移動」



A-3

「3秒キープ」



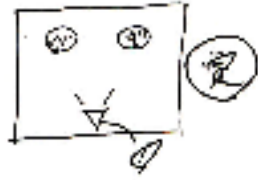
A-4

「1.5秒キープ」

早川セリ「本舞神作」
石山 英芳

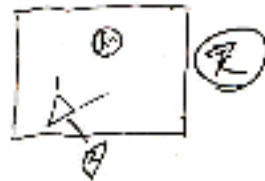
(B7R・T01・簡奏) セット・7

	0
	B-3 2.5分
	S-2 1.5分
	K-11 3分



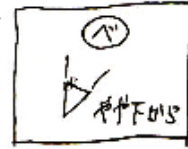
(B7R・T02・簡奏) セット・8

	0 → 2
	B-4 2.5分
	S-3 1.5分
	K-6 2.5分
	K-6 3分

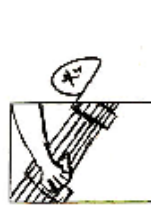






(サビ・間奏) セット・9

	0
	S-4 1.5分
	K-10 3分

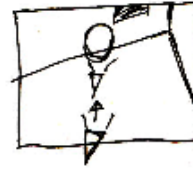


セット・109

	0 ← 2
	K-5 0.75分
	K-7 3分
	K-8 3分
	K-13 1分







(C×O) セット・11



「ボカシ」<		C-4 6秒
		C-5 3秒

(合成) セット・12

スタジオ撮影

	K-1 0.75秒	
	C-1 4秒	「2秒キープ、2秒ズームアウト」
	C-2 2秒	「ボカシ」
	C-3 6秒	「4秒で向かい合った二人がすれ違う」 「2秒キープ」